

特集

磐田市民文化会館「かたりあ」

開幕



優れた文化芸術に触れ、さまざまな活動の拠点として誰もが利用できる「かたりあ」が7月30日(土)にオープンします。

文化振興課 ☎ 0538-37-8550 FAX0538-37-5056



ホール

磐田市民文化会館 かたりあ

人々が演奏や演劇を楽しみ
その感動を心ゆくまで
語り合えることを願って

「語り合う（かたりあう）、語り合える（かたりあえる）」。その言葉から生み出された「かたりあ」は、市民文化会館の愛称です。

この愛称には「人々が演奏や演劇を楽しみ、その感動を心ゆくまで語り合えることを願って」という思いが込められています。

その言葉通り、訪れた人々が語り合える空間が、「かたりあ」には存在します。

一体感のある文化ゾーンを創出

「かたりあ」が誕生したエリアは、主要幹線道路からアクセスしやすく、周辺にアミューズ豊田やひと・ほんの庭にこっと、新造形創造館など、文化的施設が集約されています。新たに「かたりあ」が加わることで、さらに多くの人が集い、一体感ある文化ゾーンに生まれ変わります。



中楽屋



3階ホワイエ



リハーサル室



穏やかな光が差し込む交流ロビー

開放感あふれる交流ロビーの大部分を占めるコンクリート。そのモノトーンの空間の中に、ベンチやテーブルなどに用いられている木材、外からのノースライト（北側から差し込む穏やかな日の光）がコントラストとなり、単調な色合いにアクセントを付け、独特の世界観を作り出しています。



迫力のあるホール

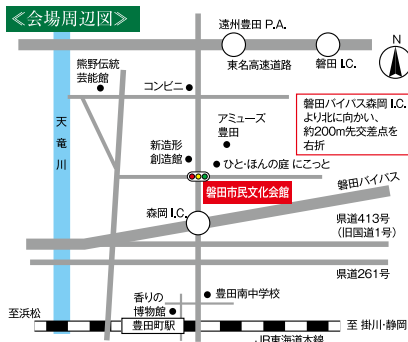
合計で1,508席あるホールは、圧巻のスケールを誇るだけでなく、県西部地域においてアクティシティ浜松の大ホールに次ぐ2番目の規模となっています。また、親子席（16席）と車いす席（8席）が設置されており、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して鑑賞することができます。



「かたりあ」のロゴ
 ロゴマークは、「語り合う場所」ということから吹き出しが重なり合っている建物の外観をモチーフにして作成しました。また、中央部に「カ」の文字を忍ばせたデザインとしています。

かたりあ
 磐田市民文化会館
 IWATA CIVIC CULTURAL CENTER

木の温かさに包まれて
 館内の随所にあしらわれた木材や木目調の壁面が、コンクリートの無機質な造形と調和し、洗練さと温かさが絡み合った心地良さを感じさせます。



磐田市民文化会館「かたりあ」
 磐田市上新屋 678-1
 ☎ 0538-37-8550
 FAX 0538-37-5056



創造活動室1



アーティストラウンジ

磐田の文化を継承するために

老朽化などにより、建て替えを決断

今之浦に建設された旧市民文化会館は、昭和54年に建設から約40年が経過していました。長年にわたり本市の文化芸術の振興に大きく貢献し、多くの人から愛されてきました。

しかし、施設の老朽化やバリアフリーへの未対応などの課題から、移設による建て替えを決断するに至りました。

県西部を代表する

文化ホールであり続けるために

近年、財政面や運営面などから閉館や規模縮小による建て替えが全国的に見られます。しかし、本市ではこれまでと同様に、大規模なコンサートや演劇など、さまざまな文化活動に対応可能な1508席のホールとしながら、ゆとりある座席としました。

感じてほしい、音の広がりや残響

扇型に開いたステージから客席へ連続性のある多面体形状は、音を拡散させながら豊かな音の広がりやクラシック音楽などにふさわしい残響を生み出します。

ホールの顔、緞帳どんちやう

舞台と客席を仕切る緞帳。しかし緞帳は、開演までの間や幕間など、観客の目に長く触れるため印象に残りやすく、会館の「第2の顔」としての役割も担っています。

本館の緞帳は、美しい海の青、豊かな自然の緑、人々の情熱の赤など、本市の市章色をメインに使い、その上に翼をイメージしたラインを重ねることで、新しい時代へ向かっていく羽ばたきを表現しています。また、ラインの重なり合いは、人々の交流を表現しています。

この緞帳の製作には、個人や法人、募金箱で集まった1560万7682円の寄付金の一部が充てられています。たくさんのご支援ありがとうございます。

協力してくれるホールサポーター

文化に携わる人の思い、思いやりを継承できるのは人です。これまでの会館で培ったきた運営手腕、おもてなしの心を継承していくためにホールサポーターもたくさん集まってくれました。



磐田市文化会館建設委員会会長
浅羽 浩 さん

「かたりあ」の主な魅力は、約1500席のホールがあることで、首都圏などで行われている本物の舞台芸術を磐田市でも鑑賞できることです。この「本物の文化芸術に身近に触れていただくこと」が会館の在り方を一緒に検討した委員の皆さんの一番の思い

でした。この規模の会館は県西部で最大級であり、ゆとりある座席、広がりハール室、多様な利用が可能な創造活動室など、全てが利用する人のことを考えた施設です。これらの施設で鑑賞したこと、創造したことが市民の皆さんの豊かな生活や磐田市の文化の発展に繋がっていくものと考えています。この会館が子どもから大人まで、また市内外の方々に広く親しまれ、未永く愛され続け、そして愛称にもあるように感動体験を語り合うことができる新しい文化芸術の拠点になることを期待しています。

開館記念式典参加者募集

- ▼とき 7月30日(土)
- ▼開場 午前10時30分 開演 11時
- ▼ところ 磐田市民文化会館(上新屋678番地1)
- ▼対象 市内在住の小学生以上の方
- ▼定員 250人程度
- ▼参加費 無料(全席指定)
- ▼※未就学児のご同伴・ご入場は遠慮ください
- ▼応募方法 6月1日(水)〜15日(水)はがきの場合は15日(水)必着)までに次のいずれかの方法でご応募ください
- 往復はがき
参加希望者(2名まで)の氏名(ふりがな)、応募者の郵便番号、住所、電話番号を記入
- 電子申請
市ホームページまたは下記2次元コードから「開館記念式典申込フォーム」で申し込む
- ▼その他 7月上旬ごろまでに参加の可否をお知らせします。座席の番号の指定はできません



文化振興課

TEL 0538-37-8550
FAX 0538-37-5056

EVENT INFORMATION

磐田市民文化会館「かたりあ」で今後開催予定のイベントをご紹介します。

各公演の内容やチケットの販売方法など詳しくは、市ホームページ（ページ番号：1002895）をご覧ください。か、磐田文化振興会（☎0538-37-8551）へお問い合わせください。



磐田市民文化会館「かたりあ」開館記念公演

祝演狂言会

野村萬齋「三番叟」×野村万作「二人袴」

野村裕基 野村萬齋 野村万作

8月2日(火)

人間国宝の野村万作さんと野村萬齋さん、野村裕基さん親子3代を迎え、開館を祝う記念公演（こけら落とし）を行います。

野村萬齋さんの演目「三番叟」は、日本芸能の真髄というにふさわしい、格式とダイナミックな躍動感を合わせ持つ舞です。野村万作さん、野村裕基さんの「二人袴」は、明るくめでたさのある演目です。どちらも開館を祝うのにふさわしい舞台となっています。

今月号の広報クイズでは、記念公演のペアチケットを3名様にプレゼントします。応募方法など詳しくは20ページの広報クイズをご覧ください。

日本の伝統芸能である狂言を磐田市で鑑賞できるまたとないチャンスです。ぜひご応募ください。

9/23

劇団四季ミュージカル 『ロボット・イン・ザ・ガーデン』



壊れかけたら、直せばいい。
家族の絆も、ロボットも。

イギリスの作家デボラ・インストールによって生まれ世界各国で多くのファンに愛される小説を、劇団四季がオリジナルミュージカルとして舞台化しました。あなたもロボットと、心温まる旅に出かけてみませんか？

10/21

劇団 SPAC 「ペール・ギュント」



壮大な音楽と巧みな仕掛けの舞台装置。出演者たちによる大編成の打楽器演奏が全編に繰り広げられる、宮城聡演出の「祝祭音楽劇」です。

©橋本武彦



©上野隆文

2023年（令和5年）3/21

東京フィルハーモニー交響楽団 ベートーヴェン交響曲「第九」市民合唱付

本公演に向けて募集した市民合唱団と、首席指揮者の



©上野隆文

アンドレア・バッティストーニ氏率いる東京フィルハーモニー交響楽団、磐田市出身のソプラノ歌手、中井奈穂さん他3名のソリストを迎えて、ベートーヴェン作曲交響曲第9番『第九』を演奏します。